

海況速報

平成 26 年度 第 3 号 (通算 No.159)
平成 26 年 8 月 6 日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@hro.or.jp

7 月下旬の海況

☆日本海海域

岩内湾のはるか西方沖に暖水渦 (指標: 100m 層水温 8°C 以上) があります。このため、対馬暖流 (指標: 100m 層水温 6°C 以上) は、檜山沖では沿岸寄りを流れていますが、せたな沖から離岸し、暖水渦の西方を流れる蛇行した流路になっています。また、対馬暖流は、石狩湾以北では、本道のやや沖側 (東経 140 度 30 分) を北上しています。

対馬暖流の流量は例年よりも約 3 割少なくなっています。

水温は、表面のほぼ全海域で、例年よりも 1~2°C 高くなっています (水温偏差表参照)。一方、表面よりも下層では、水温は、暖水渦の分布する海域で 2~7°C 高くなっているのを除き、例年よりも 1~3°C 低い海域が広くみられます (水温偏差表参照)。

余市における旬平均水温は、7 月上、中旬は「かなり高い」でしたが、7 月下旬では「やや高い」になっています。

☆道東太平洋海域

親潮 (指標: 100m 層水温 5°C 以下) が道東海域を広く覆っています。また、道東沖合の北緯 41 度、東経 145~146 度の海域では、黒潮系北上暖水 (指標: 100m 層水温 7°C 以上) がみられます。

水温は、表面では例年よりも 1~3°C 高い海域が広くみられ、特に、厚岸沖の観測線上では 3~5°C 高くなっています。50m 層以深では、黒潮系北上暖水の分布する海域を除き、水温は例年よりも 1~2°C 低くなっています (水温偏差表参照)。なお、黒潮系北上暖水の分布する海域では、水温は例年よりも 2~8°C 高くなっています (水温偏差表参照)。

☆道南太平洋海域

津軽暖流 (指標: 100m 層水温 6°C 以上) はほぼ渦モード (*1) ですが、道東海域からえりも岬を超え道南海域へ流入した親潮由来の水塊 (指標: 50m 層水温 5°C 以下) が胆振沖の深度 50m 付近にみられます。

水温は、表面では例年よりも高い海域が多いですが、50m 以深に親潮由来の水塊が分布する胆振沖では例年よりも 2~5°C 低くなっています (水温偏差表参照)。

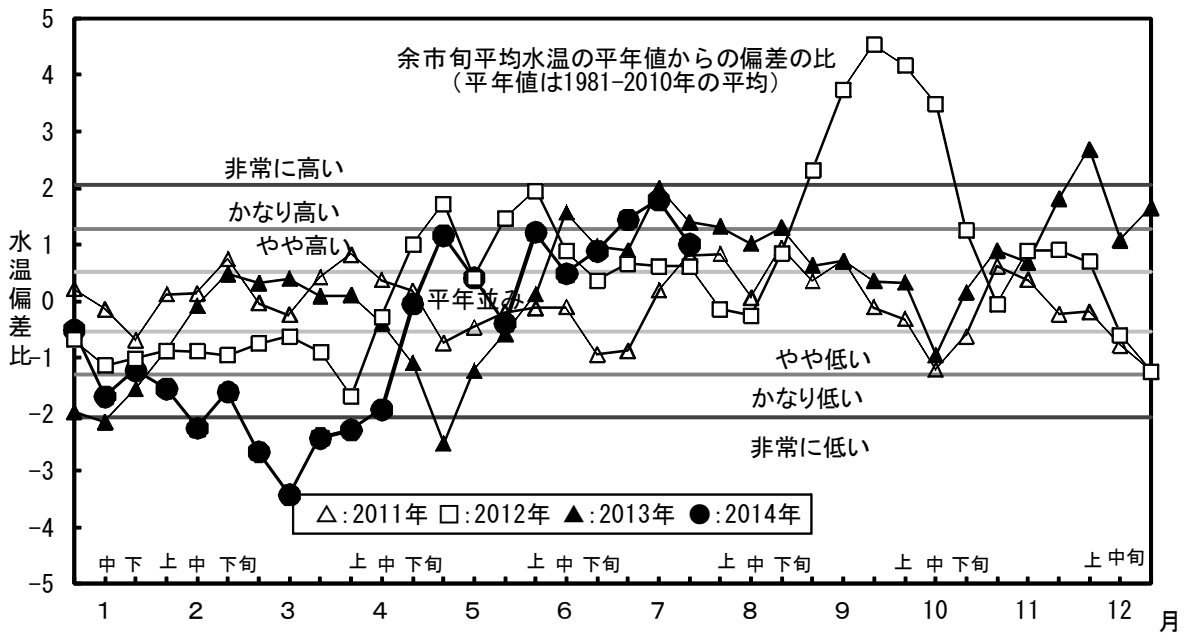
☆オホーツク海海域

宗谷暖流 (指標: 50m 層水温 7°C 以上) がオホーツク沿岸を順調に流れています。

水温は、表面のほぼ全海域で、例年よりも 1~3°C 高くなっていますが、宗谷暖流の流れる沿岸域の 50~100m 層では、例年よりも 2~5°C 低い海域がみられます (水温偏差表参照)。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試 (北洋丸)	2014/7/28-7/31	(道西道北日本海海域)
稚内水試 (北洋丸)	2014/7/23-7/25	(オホーツク海海域)
釧路水試 (北辰丸)	2014/7/23-7/29	(道東道南太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	2014/7/23-7/29	(道西道南日本海海域)

* 1 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋崎からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。
また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/central/section/kankyousuion/tkh4vd000002n7a.html>

余市前浜水温の携帯サイトはこちらから

<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/kaiyou/keitai/KSSSTyc.html>

右に QR コードがあります。



